



ゴールはここじゃない!!~ その時々を大切に ~



レギュラーと呼ばれる人数は!!

- ▶野球 9名 (DH 制なら 10名)
- ▶サッカー 11名
- ▶バスケットボール 5名
- ▶バレーボール 6名

団体競技では、途中出場の選手を除いて、その場に立てる人数が決まっています。そして、部活などのチームに所属するほとんどの選手が、レギュラーメンバーとしてその場に立つことを目標にしていると思います。

しかし、全員がレギュラーになれるとは限りません。中には、補欠のままでその競技を引退する人もいます。その人にとって、レギュラーに選ばれなかったことが、大きな影を落とすこともあると思います。私もその一人だったので、気持ちが分かります。

今回の通信では、私自身がハンドボールという競技を通して学んだことを、みなさんに伝えたいと思います。最後まで読んでもらえたら嬉しいです。



高校時代

高校2年生の2月の話です。ハンドボール部に所属をしていた私は、4月から始まる最後の大会に向けて猛練習をしていました。レギュラーメンバーに選ばれたい思いで、朝には走り込みをしたり、昼休みにはウエイトトレーニングをしたりしました。その甲斐あってか、練習試合でも活躍の機会を得ることも増えてきました。「最後まで、自分のために頑張ろう!!」と思っていたそんな矢先に…

右足首の骨折(全治2ヶ月)

練習中の怪我でしたが、その時の自分には、骨だけでなく心までも折れる音が聞こえてきました。「復帰は絶望的!!」と診断をされたその日から、部活への足が遠のいていきました。

「どうでもいいや!!」



無気力になった私は、早く大会が終わって引退をすることだけを願い、過ごしていました。今となって思うと、自分のことしか考えられていない自分が恥ずかしいですが、当時の私には、そう思うことしかできませんでした。そして、その願い通りに、初戦での敗退が決まりました。まさに、“思うは招く”でした。

今でも、あの日のことを後悔しています。本当に申し訳ないことをしました。

大学時代

大学では、楽そうなサークルに入ろうと考えていました。だから、ハンドボールをやるとは想像もしていませんでした。しかし、偶然というのは恐ろしいもので、たまたま通りかかったグラウンドで、楽しそうにシュートを打ったり、パスをしたりする姿を目にした時に、もう一度自分もハンドボールを触ってみたいとなったようです。心の中の何かに、火が付いた感じがしました。

チームには、インターハイや国体への出場経験者も多く、最初は自分のレベルの低さを実感しました。しかし、その人たちと練習をしたり、会話をしたりすることが楽しく、少しずつ気持ちが変化していくことに気が付きました。

「このチームで、ハンドボールを楽しみたい!!」



「好きこそものの上手なれ!!」ということわざもありますが、好きになったものなので、努力が楽しくなったようです。そして、だんだんと上達していくのを、自分でも感じる事ができました。それと同時に、自分だけでなく、他の人が活躍できる動きもできるようになりました。その結果、その日が訪れました。

関東リーグの5部6部を出入りするようなチームでしたが、最後にはチームのキャプテンを任せられるまでになりました。そこで、高校生の自分では、見ることのできなかつた光景を、仲間と一緒に見る事ができました。その時の私は、誰も信じてくれませんが、天井から人の動きを見ているような感覚で試合に臨むことができたのを覚えています。

そして、試合に出ている仲間だけでなく、出ることができなかった仲間や対戦相手にも敬意や感謝の気持ちを抱けるまでに、心が成長していきました。「この気持ちをもって、さらに先のゴールへ!!」と、今でも思うようにしています。

ハンドボールを通して、2つの違う景色を見たことは、今の自分の“生きる力”につながっています。

川名中学校のみなさんに伝えたいこと

学校行事や定期テスト、部活動など、様々なことにチャレンジをしている人がいます。また、学校以外の場所でも、将来の夢や目標に向けて真剣に頑張っている人もいます。しかし、その中で上手いく人もいれば、全力で取り組んでも、周りとの差やタイミングなどで上手いかならない人もいます。そこでは、悔しさや辛さを味わうこともあるでしょう。ただ、一つだけ伝えたいことがあります。それは…

「ゴールはここじゃない!!」



上手いっている時の景色も、上手いかならない時の景色も、どこかであなたの未来につながっています。今、ゴールだと思っているその場所を、あなたがどのように捉えるかで、その先の未来は変わるはずですよ。そのことを忘れずに、中学校生活を全力で過ごしてください!!今回は、ハンドボール(団体競技)を通しての私の体験談でしたが、他の場面でも当てはまると思いお伝えしました。また、仲間を大切にすることで、見える景色も違うので、あなたと同じくらい、あなたの隣にいる人も大切に!!

※元永知宏 著『レギュラーになれないきみへ』に感銘を受け、自分の体験を振り返りながらこの通信を作成いたしました。